

日本電通 IT Solutions Group

NDK ndis  

NDK IT Solutions Group
Customer Conference 2020

C-6

真のDXを実現するために、日本電通が出来ること

日本電通株式会社
ITソリューションズ事業部 営業統括部

赤松 慎也



本日のAgenda

- DXとは / 日本電通の考えるDXの定義
- DX実現のための3つのポイント
- 共創とは
- 共創の具体例
- <共創事例紹介> 自動車部品工場 スマートファクトリー実現に向けて
- まとめ

“**DX**＜デジタルトランスフォーメーション＞とは、企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。”

経済産業省 2018年12月発表：「DX推進ガイドライン」の定義

よくある勘違い

DXとは、デジタルテクノロジーを活用して、
現在あるモノや業務の利便性を向上させたり
付加価値を与えたりするもの…。



Digitization

デジタイゼーション

No DX !

日本電通の考える
DXの定義

DXとは、**デジタルテクノロジーという武器** を使って

圧倒的なスピードで変わっていく世の中、ビジネスの在り方に対応するための **企業の生存戦略**

予測できない市場環境の変化

業界の枠組みを超えた
競合の予期せぬ参入

顧客嗜好の多様性と
流動性と高まり

予測可能な環境動向

コロナ第3波／コロナ不況

少子高齢化による
人材不足

5Gの参入／AIの台頭

企業の内在する課題

売上UP／コストダウン

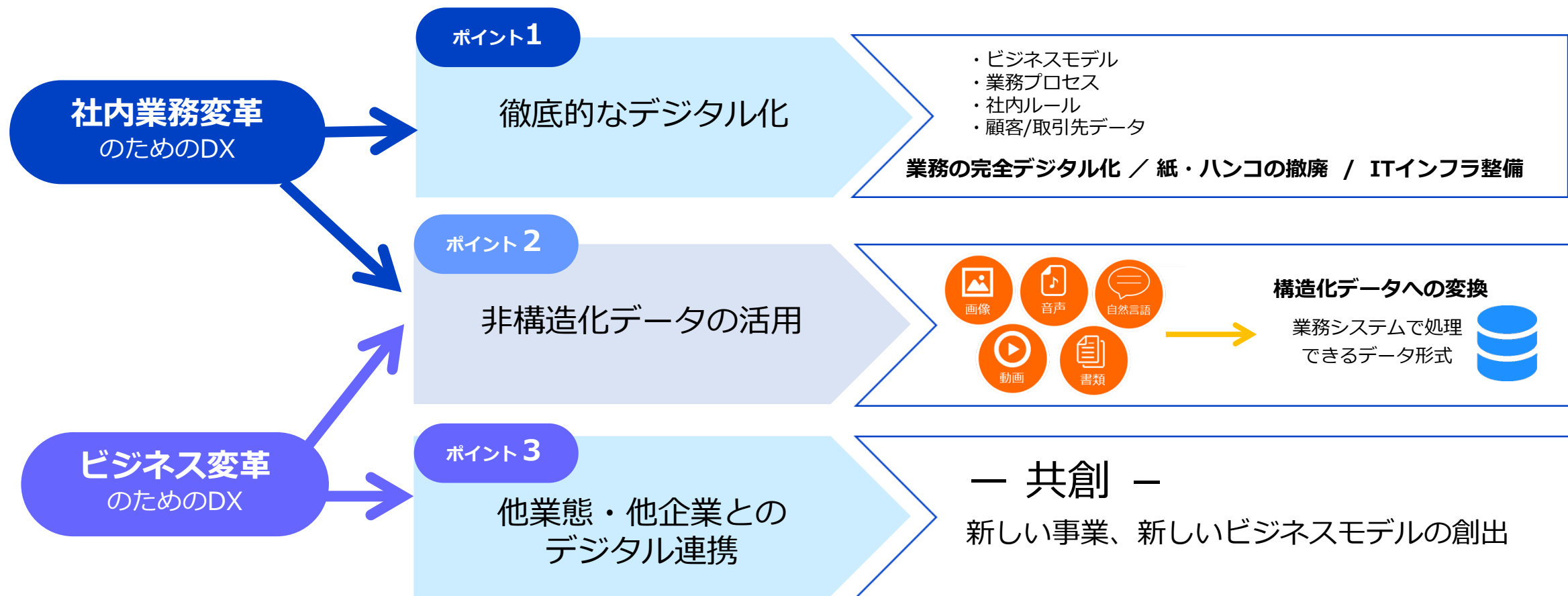
競争力の強化

採用の確保

セキュリティリスク回避



DX推進の手始めは、企業の抱える問題、日々新たに発生する問題への迅速な解決策として
変化に俊敏に対応できる企業の文化と体質への変革、そのための環境整備 から



ポイント1

徹底的なデジタル化

社内業務の全てにおいてデジタル化をめざし、**省力化・自動化** へ移行する。



全ての業務基盤を
クラウドへ

ニューノーマル時代に向けて、いつでもどこからでも、利用が可能なクラウド基盤の選択が基本です。

ポイント 2

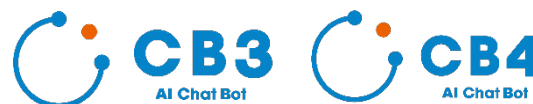
非構造化データの活用

AI や OCR を活用により従来扱えなかった画像や音声、紙の書類などの非構造化データを業務システムが扱える構造化データに変換できる。
これによって業務デジタル化の範囲が拡大する。

非構造化データ



AI・OCRによる 構造化データへの変換



nVision

BPA2+Anyform

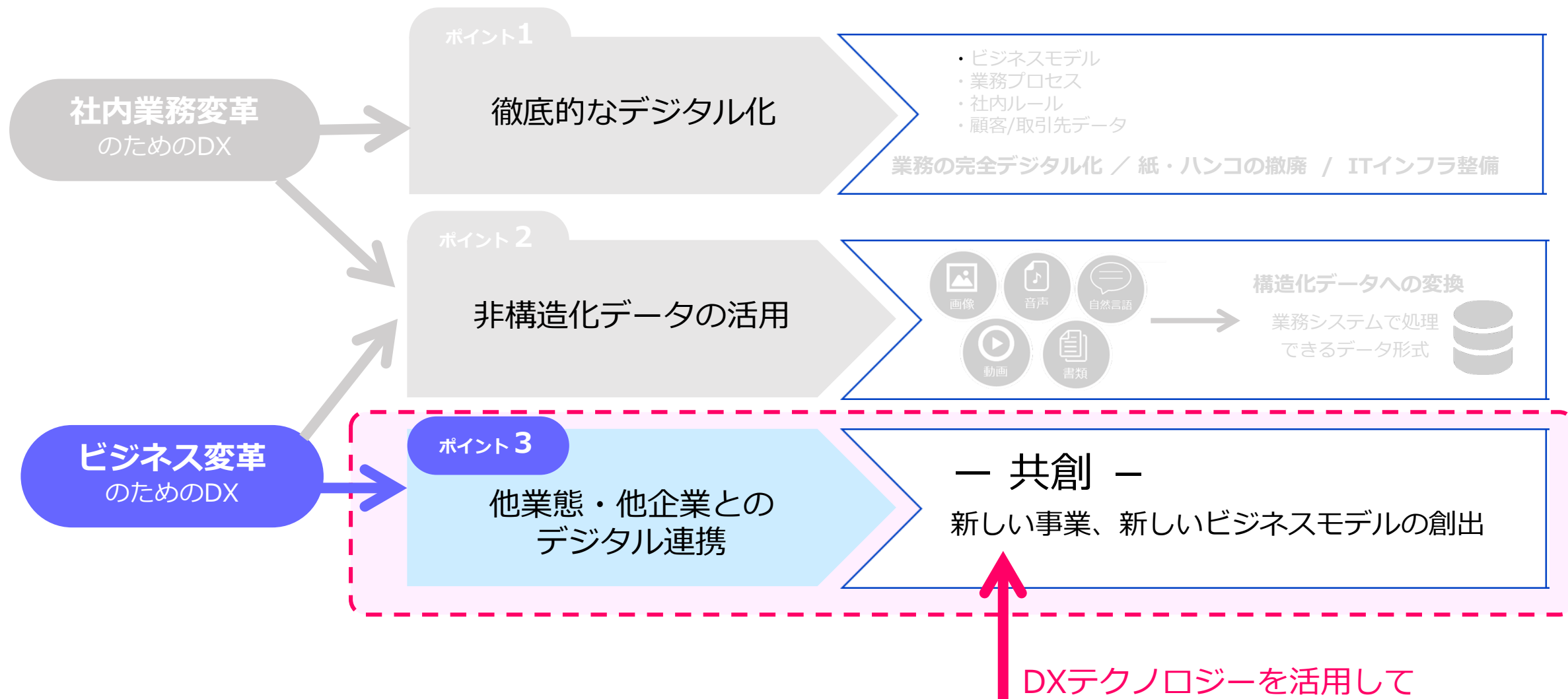
BPA2+Cloud



構造化データの活用



etc...



共創 の定義

企業が様々なステークホルダーと協働して
共に新たな価値を創造すること

1つの企業では対応が難しかった変化への対応や新たなアイデアの創出に他社と協働・共創することで
相乗効果による新しいサービスやビジネスモデルの可能性が広がる。

※ 元々は、2004年米大学教授が提起した概念。「Co-Creation」の日本語訳。

※ **ステークホルダー**：利害関係者。具体的には、消費者（顧客）、従業員、株主、債権者、仕入先、得意先、地域社会、行政機関など。

テクノロジーを味方に
競争 → 共創 の時代へ

複雑化する課題への対処は1社では困難

- AI/IoT などの先進技術を共創のプラットフォームに。
- 共創のパートナーは様々

＜お客様×ITパートナー / お客様×専門家 / お客様×お客様 etc…＞

共創 Co - Creation

「共創」は、相手との関係によって3つのタイプに分類することができます。

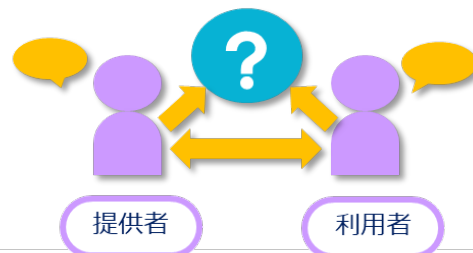
オープンな集合知

コンソーシアムやコミュニティで
知恵を出し合い議論する。



双方向化

製品の提供側と顧客が共に
新製品のアイデアを出し合う。
利用者の提供者化



外部の専門家と連携

価値を生み出したい主体の企業が、
外部の専門家と協力して課題解決
価値創造を行う





コンソーシアムやコミュニティで
知恵を出し合い議論する。



DXチャレンジ 2020

2019年に実施したDXチャレンジコンテストの2020年版を発表します。事業化へのサポート、全国大会優勝の副賞など、さらにパワーアップしてお届けいたします。

概要

日本IBMがパートナー企業と協働して新しいアイデアを生み出す
新ビジネス創出コンテスト (2019年より開始)

- 最新テクノロジーを活用した**全く新しいアイデアを創出・洗練**し、早期にそれを具現化・事業化する事で**地域社会や業界の発展に貢献**する。
- 取り組みを通じて**参画企業の新規事業立ち上げや人財育成**のご支援し結果として地域社会における**DXテクノロジーの幅広い活用**を促進する。

DXチャレンジ2019

日本電通グループも2019年よりコンテストに参加しています。

健康支援アプリ

1 ニーズ

- 美味しい食事を取りながら健康に生活したい
- 楽しく体を動かしながら健康に生活したい

2

コンセプトの設定

3

プロトタイプ製作

AI管理栄養士の機能の一つとして
料理の写真をスマホで取ると
カロリーを利用者に返すプロトタイプを作成

食事のサポート（AI管理栄養士）と運動のサポート（AIトレーナー）の
相互利用ができるスマホアプリを提供する。

- 利用者の趣味趣向に合わせた食事メニューや
運動メニューをご提案
- 手間をかけずにアプリを利用



< 健康支援アプリ >

DXチャレンジ2019

日本電通グループも2019年よりコンテストに参加しています。

電柱状況通知サービス

1 課題

- 定期点検は、工事経験が豊富なベテランが担当しているが要員が不足
- 国内の電柱本数は年々増加

2 コンセプトの設定

3 プロトタイプ製作

✓ 生活インフラである電柱の「傾き、倒壊」を早期に発見できる仕組みを構築

✓ 保守・点検業務に利用できる仕組み作り

電柱情報送信

集計・蓄積・検知

通知



IoT



管理画面

メール



AI チャットボット CBシリーズ ユーザー企業同士の交流、そして共創へ



ユーザー間でAIチャットボットの運用について
意見交換しノウハウを共有

今日を愛する。
LION

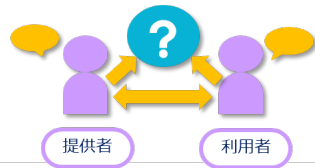


YOKOGAWA ◆
横河レンタ・リース株式会社

活動について

CB1ユーザー同士の交流を活性化し
再利用可能なコーパスの協議・知見の共有・社内へ
チャットボットを浸透させるための工夫やアイデアを
意見交換中。





製品の提供側と顧客が共に新製品のアイデアを出し合う。

利用者の提供者化

三菱UFJ銀行「APIサービス」による 外部IT企業との連携を開始

https://direct.bk.mufig.jp/btm/ser_naiyo/api.html

三菱UFJ銀行

ホーム > 個人のお客さま > 三菱UFJダイレクト > ご利用時間・サービス内容一覧 > その他サービス > 三菱UFJダイレクトの「APIサービス」

三菱UFJダイレクトの「APIサービス」

概要

APIサービスとは、お客さまの同意を得たうえで外部サービス会社と連携して、三菱UFJダイレクトの一部機能やお取引情報を外部サービス会社に提供するサービスです。

- APIサービスをご利用いただく、三菱UFJダイレクトのパスワード等を、外部サービス会社に開示することなくサービスをご利用いただけます。

ご利用イメージ

ご利用いただけるAPIサービスの内容は、外部サービス会社ごとに異なります。

> [ご利用可能な外部サービス会社とサービスの一覧はこちら](#)

※ 外部サービス会社が提供するサービスの内容は、外部サービス会社へお問い合わせください。

連携する外部サービスの例

Money Forward ME

free
zaim

API提供

MUFG
三菱UFJ銀行

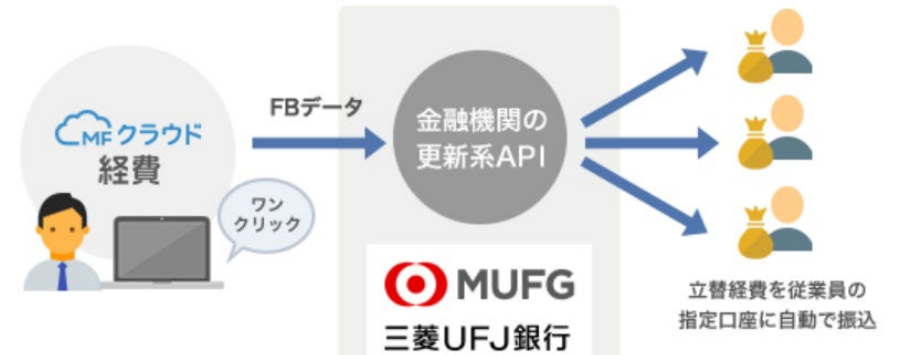
共創相手

Money Forward クラウド経費

お客様のメリット

データ活用／利便性・操作性向上

MFクラウド経費からワンクリックで振込依頼が可能に



製品提供側

株式会社オービックビジネスコンサルタント（OBC）



API



AI チャットボット

CB シリーズ

by NDK

共創

企業間の「共創アイデア」から生まれたソリューション



正式に製品化し、**2020年6月24日** にプレスリリース

PR TIMES

プレスリリース・ニュースリリース配信サービスのPR TIMES

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | スポーツ

奉行クラウドがAIに対応 『AI業務アシスタント CB4-商蔵奉行クラウド』とAPI連携を開始

AIを使った業務アシスタントによって販売活動をスピードアップ！

株式会社オービックビジネスコンサルタント

🕒 2020年6月24日 14時00分

AIを使った業務アシスタントによって販売活動をスピードアップ！
奉行クラウドがAIに対応

『AI業務アシスタント CB4-商蔵奉行クラウド』とAPI連携を開始



2020/6/24

勘定奉行・奉行クラウドをはじめとする基幹業務システムを開発する株式会社オービックビジネスコンサルタント（代表取締役社長：和田 成史／本社：東京都新宿区：以下OBC）は、クラウド販売管理システムの『商蔵奉行クラウド』と、日本電通グループ（日本電通株式会社／代表取締役社長：戸谷 典嗣）が提供する『AI業務アシスタント CB4-商蔵奉行クラウド』がAPI連携を開始したことをお知らせいたします。

DX（デジタルトランスフォーメーション）のトレンドは、AI・ビックデータなどの最先端テクノロジーによって、日々進化しビジネスに活かされつつあります。しかし、それらの技術は一部の企業でしか利用されておらず、多くの先行投資が必要であり、かんたんにその恩恵を受けることはできません。

株式会社オービックビジネスコンサルタント（代表取締役社長：和田 成史）の『商蔵奉行クラウド』と、日本電通グループの『AI業務アシスタント CB4-商蔵奉行クラウド』

↑ <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000039.000026471.html>

← <https://www.obc.co.jp/corporate/outline/news/news200624>

※日本電通(株)はOBCが認定するパートナー制度：OBC Alliance Partnership Platinumを取得しています。

企業間の「共創アイデア」から生まれたソリューション

AI業務アシスタント CB4 – 商蔵奉行クラウド AI Chat Bot



利用者のメリット

今まで帰社しなければならなかった営業事務作用が
商談の合間に待ち時間なく処理が可能になり、大幅な時間短縮を実現。

営業担当社1人で **1日 1.5時間** 時短。

営業担当社10人で計算すれば
年間 3,600時間 の時短効果が期待

Before	After
10:00~11:00 商談①	10:00~11:00 商談① 業務アシスタント活用
11:30~12:00 移動	11:30~12:00 移動
12:00~13:00 休憩	12:00~13:00 休憩 業務アシスタント活用
13:00~14:30 商談②	13:00~14:30 商談② 業務アシスタント活用
14:30~15:30 移動	14:30~15:30 移動
15:30~16:30 商談③	15:30~16:30 商談③
16:00~16:30 移動/帰社	16:30~18:30 移動/帰社 資料作成・打ち合わせ
16:30~19:00 業務 (注文・発注・納期回答、 問合せ回答など)	18:30~ 退社
19:00~20:00 報告業務 資料作成・打ち合わせ	
20:00~ 退社	

1日1人あたり
1.5hの
残業削減

画像認識 AI ソリューション

nVision

- 画像認識とは、コンピュータがデジタルな画像や動画を認識すること。
- 人が目で見て判断する作業や業務に適用することで**様々な効果が期待**できる。
- **人の目では見落としが**ちだったことが良く見えるようになる。

自動化・省力化

人の目で判断していた
作業の自動化と省力化

平準化

従業員ごとに偏りが
ある業務を平準化

技術継承

熟練社員から若手社員への
技術継承に効果



製 造

- 製造ラインの外観検査工程
- 設備の保全
- 納入部品の仕分け
- 従業員の安全管理
- 侵入検知



小売・流通

- 待ち行列監視
- 需要予測
- 棚の状態監視
- 危険物判定
- 人的トラブルの監視
- 不審者の監視
- 駐車場監視
- 来客カウント



保育・介護

- 寝返り回数のカウント
- 徘徊の防止
- 危険予測



交通

- 車両の検出
- 交通量の監視
- 不審物の監視

画像認識 AI は人間にたとえると“目”に相当する、しかし**精度は人間の目と比較にならない**。

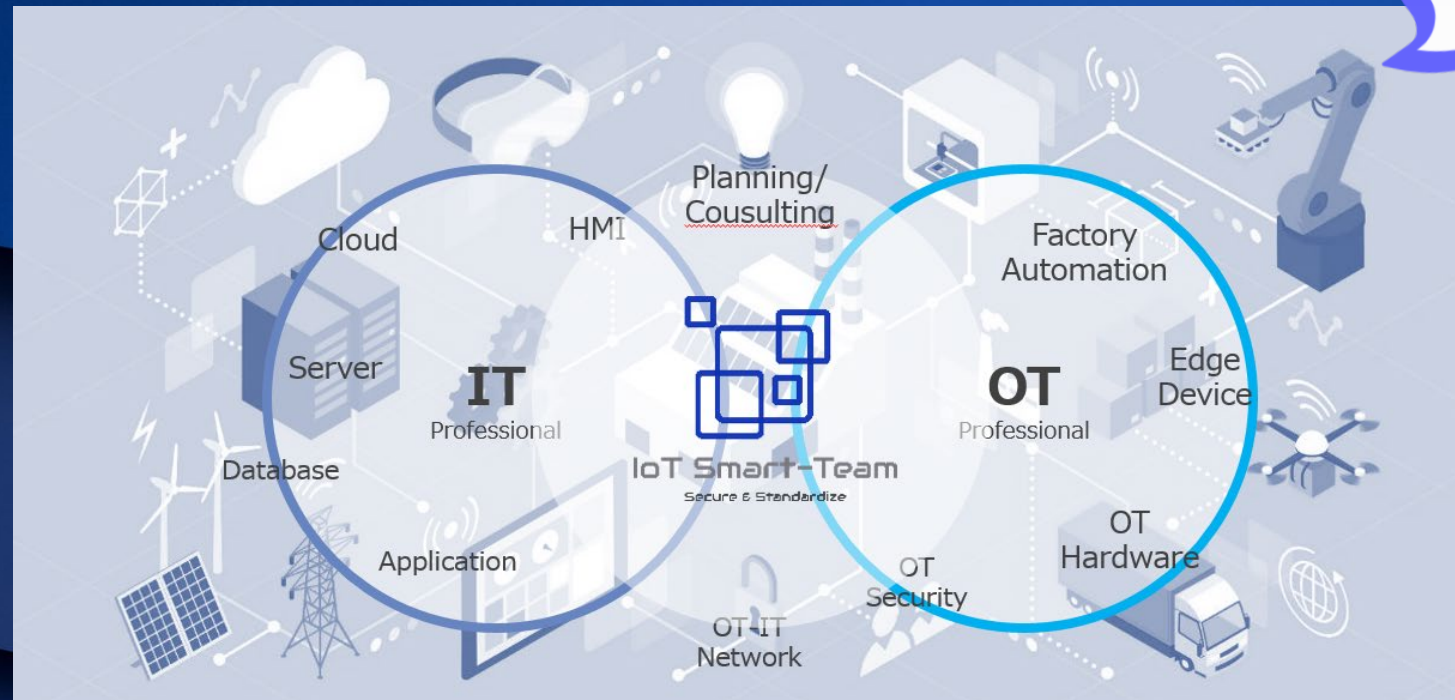
これにより、今まで見つけることが出来なかったことが認識できるようになり

DX・共創の分野において非常に期待が高まっている分野

実際に日本電通がお客様と共に参画させていただいた
自動車部品工場における **Smart Factory** (スマートファクトリー) 構築の共創事例 を
ご紹介させていただきます。

株式会社 **進和様** × **日本電通**

詳細は進和様との
インタビューでご紹介！



- DXとは、**デジタルテクノロジーという武器** を使って
圧倒的なスピードで変わっていく世の中、ビジネスの在り方に対応するための **企業の生存戦略**。
企業間の**共創でビジネス変革のさらなる加速**を。
- **AI** は共創のアイデアを想起させやすく
また実現のための大きなチカラとなります。
- 1つの企業では対応が難しかった変化への対応や新たなアイデアの創出に
**他社と協働・共創することで、相乗効果による新しいサービスや
ビジネスモデルの可能性が広がります。**

LOREM IPSUM

お客様の新たなビジネスモデル、業績拡大にNDKに是非お手伝いをさせてください。

ご視聴ありがとうございました。

本セッションにてご紹介のソリューション、事例、共創への御相談に関しましては
担当営業、もしくは下記アドレスへご連絡ください。

ご連絡アドレス：日本電通マーケティング事務局
itsol_1@ndknet.co.jp

